

平成29年 7月 7日

平成29年度全国高校総体ハンドボール競技
出場校監督様

(公財) 全国高等学校体育連盟
ハンドボール専門部 競技部

(公財) 日本ハンドボール協会からの競技運営に関する通達と
全国高体連ハンドボール専門部特別処置とお願い

全国高校総体ハンドボール競技へのご出場おめでとうございます。

さて、2017年度競技運営に関する通達とテクニカルデレゲートの任務が平成29年4月1日に出されました。標記の件について、全国高等学校総合体育大会(福島開催)において実施いたしますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(★印は全国高体連ハンドボール専門部特別処置とお願い)

1. 公式記録用紙とランニングスコアを併用する。

〈H29. 4. 1〉

2. レフェリーが下した事実判定は最終的なものである。競技規則に反する事項については異議申し立てができる。異議申し立ては所定の手続きによる。

〈H29. 4. 1〉

3. アンダーウェアについて

★ユニフォームの下に着用するアンダーウェアについて、着用してユニフォームの外にアンダーウェアが出るようであれば、チームは統一してユニフォームと同色のアンダーウェアを着用する。(特別処置)

4. 靴下、コンプレッションソックスについて

★プレーヤーが着用する靴下はチームで統一した形、色になるように推奨する。コンプレッションソックスを着用する場合も靴下と同様の扱いとする。(特別処置)

5. サポーターについて

・サポーター(バンテージ)として使用する場合は、チームで同色のものを用いなければならない。膝、肘、足首各部位を覆うものを許可する。医療用を目的として用いるもののみは長めであっても許可する。具体的にはリストバンド、エルボーサポーター、大腿部サポーター、ニーサポーター、下腿部サポーター、アングルサポーターをいう。上記サポーターは、ソックス、ハイソックスと同様、ユニホーム、短パンツと色違いであっても認める。ただし、IHFルールと同様に膝当て、肘当てのサポーターが厚いクッションが外側に出ているものの使用は認めない。アームスリーブズの着用は認められない。また、サポーター等にメーカーロゴが規定以上に表記されているグッズの着用は認められない。IHFはシャツ、短パンツ、ソックス等のウェア類は20cm²を超えないことと規定していることから、本協会もこの規則を適用する。IHFは金具、プラスチック入りの製品(アングルサポーターは除く)を認めていないことから、本協会も着用を認めない。

〈H29. 4. 1 一部特別処置〉

6. 得点表示について

★電光掲示板によるチーム得点表示は、前半後半で今まで通りハーフタイムで入れ替える。
(特別処置)

7. 更衣について

★ユニフォーム等の着替えは、必ず指定の更衣室を利用すること。

*全国高体連ハンドボール専門部の内規及び申し合わせ事項・競技上の注意並びに(公財)日本ハンドボール協会2017年度競技規則及びテクニカルデレゲートの任務についても、ご精読の上、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。